

2022年度学校推薦型選抜・総合型選抜小論文過去問

(地域総合学部・情報学部・人間科学部・国際学部は40ページの問題形式となります)

文学部 経済学部 経営学部 法学部 教養学部

学校推薦型選抜・総合型選抜A日程第二次選抜 ※著作権の都合上、2021年度を掲載。

以下の文章を読み、問いに答えなさい。

問1 文章の内容を100字以内に要約しなさい。

問2 「アフターメディア・アクション」の是非についてあなたの考えを700字以内で述べなさい。

大学医学部での不正入試が相次いで発覚したことは、記憶に新しい。卒業生の子どもなどに加点する一方で、女子や浪人生が不利になるような点数操作がされた。求められるのは、教育における「結果の平等」という観点からの対策だろう。

教育における「機会の平等」とは、教育を受ける機会が人種や性別、経済的地位などにかかわらずすべての人に開かれていることだ。それに対し「結果の平等」とは、機会の平等が保障されたとしても少数民族や女性など歴史的、構造的に差別されてきた人々とそうでない人々との間には教育格差が生じるため、前者に対して何らかの優遇措置をとることをさす。スタートではなく、ゴールにおける平等である。

米国で1960年代から導入された「アフターメディア・アクション（積極的差別是正措置）」は、結果の平等を認ろうとした一例である。能力のある人種の少数派の学生などに対して、大学入試で特別な合格枠を設けたり、合格基準を低く設定したりするなどの優遇措置がとられた。英

国では、貧困地区にある学校に優秀な教師を派遣し、学習環境を改善するなどの施策も導入された。

それに比べると日本では、「結果の平等」を重視する意識はまだ広がっていない。背景には、教育達成を各人の努力の結果とみなし、生まれ育った環境など本人以外の要因のせいにするを問題視する精神土壌がある。「結果の平等」の視点で後進してしまいがちなのである。

だが近年、日本で教育格差が拡大していることが明らかになっている。教育格差が放置されれば、社会は不安定化していく。教育結果の「パランス」を均衡させる政策を導入していくべきだろう。たとえば医学部入試はもともと、裕福な層に有利な状況になっている。それを踏まえて、不利な状況にある人々に対しては合格基準を緩めたり、給付型奨学金の額を上げたりするなどの措置を導入していくべきだ。

男女間の平等への取り組みとしては、医学部や理工系、医学生命科学系学部に関心を持つ女性志願者に受験を積極的に推奨することを提唱したい。過去の女性入学者が少なかったことを理由に受験・進学を躊躇（ちゅうちゆう）する必要がないことを、進路指導の中で明確にしなければならぬ。

（岡田昭人「教育の格差是正「結果の平等」視点持って」、「朝日新聞」2019年5月18日（朝刊）、15頁より一部抜粋して引用）

総合型選抜B日程第二次選抜・TG推薦・資格取得による推薦B日程

以下の文章を読んで問いに答えなさい。

問1 以下の文章を100字以内に要約しなさい。

問2 家族を愛することは「自然」であるか、あなたの考えを700字以内で述べなさい。

現代日本において露骨な愛を注いでも許される唯一の組織がある。それは、家族である。自分は国家や社会に身を捧げ、国家と社会こそ自分の生きがいであると語ることに一抹の気後れがあるのに対して、家族に関しては、家族を心から愛しているとか、（中略）家族の幸せを心底願っている…という露骨な愛情表現が大手を振って歩いている。誰も眉をひそめず、問題にもしない。（中略）

これは、家族に恵れない人、家族のいない人、いやそれよりさらに、家族を憎めない人、家族を憎んでいる人（中略）にとっては、きわめて残酷な事象ではなからうか。（中略）

家族至上主義を崇め奉っている多数派は、家族を愛することは「自然だ」とみなしているからこそ、それを欲しない者を頭から非難し排除する。彼らは、家族の愛に包まれることは、すべての幸福のうち最大の幸福と信じているから、この幸福をすべての人に要求するという凄まじい暴力を一あくまでも理やかな形で一じわじわと実行するのである。（中略）

「妻が亡くなりました」と語ると、多くの人が真剣な顔つきで哀悼の意を

表する。そう語る当人も、そのことを機分期待している。冷淡な反応を示す人を無礼だとさえ思ってしまう。このとき、わずが一瞬でもいいから、自分の傲慢さを自覚する必要があるように思う。なぜなら、これが法律的に保護されていない性的パートナーの場合は、極相がらがり一変することを彼は知っているからである。（中略）

同じことは、子供の誕生の場面でも言える。正当な結婚をして子供を授かったときのみ、夫婦はおおむらにその喜びを公開し、周囲の人に祝福を要求する。だが、望まない子供の誕生も多々ある。（中略）結婚して子供が生まれたとき、みなの祝福を期待し「大きな顔をして」報告するとき、あなたはすでに（潜在的）加害者なのである。（中略）

私自身、結婚し子供をもって、正統派に属することはきわめて居心地がいいとともに、人間を限りなく鈍感にすることを痛感した。「妻の誕生日でして」と語っても「これから息子をプールに連れて行くんです」と言っても、一挙に温かいまなざしが注がれる。それ以上、何の複雑な説明も要らない。（中略）

こうして、家族に「いいい」を求めた人は、断りに甘やかされ、そのことによって頭脳が単純化し、麻痺し、知らないうちにも多くの非難の人や家族関係に苦しんでいる人を傷つけることになる。

（中島義道（2015）『差別感情の哲学』、講談社、pp.144-148より一部抜粋）

工学部

学校推薦型選抜・総合型選抜A日程第二次選抜

機械知能工学科

次の問題文について、600字以内で答えなさい。

これまで「自動車を中心」とした都市づくりが進められてきましたが、これからは全ての人が自由に楽しく移動できる「人中心」の社会へと変わろうとしています。未来のモビリティ（移動・交通手段）社会はどのような姿になると考えているか、また、どのようなことになって欲しいか、あなたの考えを具体的に記述しなさい。

電気電子工学科

次の問題文について、600字以内で答えなさい。

近年、新型コロナウイルス感染症によって生活が大きく変わりました。この生活変化において用いられた電気電子工学に関するキーワードを一つ挙げて説明し、今後どのように発展していく事が望ましいか述べなさい。

環境建設工学科

次の問題文について、600字以内で答えなさい。

建設現場において安全問題はいくら強調してもしすぎることはないほど大事なことである。道路工事、トンネル工事、橋の建設工事など一般的な建設工事においては、新型コロナウイルス感染症や熱中症、飲酒作業、建設自動化による安全管理員の不足などが、安全に関わる問題として考えられる。もしあなたがとある建設現場の責任者であったら、どのような安全問題に対して、どのような対策を施し、どのような効果を期待するのかについて、自分の考えを述べなさい。なお、取り上げる安全問題は、上に挙げたものでも、自分で考えたものでも構わない。

工学部

総合型選抜B日程第二次選抜・TG推薦

機械知能工学科

次の問題文について、600字以内で答えなさい。

2015年の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」の目標7「すべての人が、電気やガスなどのより新しいエネルギーを、安い価格で安定して使えるようにすることを旨とする」を実現するために、どのような取り組みが考えられるか、具体的に記述して、あなたの意見を述べなさい。

電気電子工学科

次の問題文について、600字以内で答えなさい。

少子高齢化社会における課題を挙げ、その課題解決が期待される「電気工学的技術（電力・制御系、情報・通信系、電子・材料系）」について、あなたの意見を述べなさい。

環境建設工学科

次の問題文について、600字以内で答えなさい。

SDGs(Sustainable Development Goals)は、持続可能な開発目標を意味し、2015年9月国連サミットで採択されたよりよい世界を目指すための国際目標のことである。17の目標と169のターゲットから構築されており、2030年までに目標を達成することを世界共通で目指している。採択された全17の目標のうち4つが環境保全に該当する目標として挙げられている。その4つは以下の通りである。

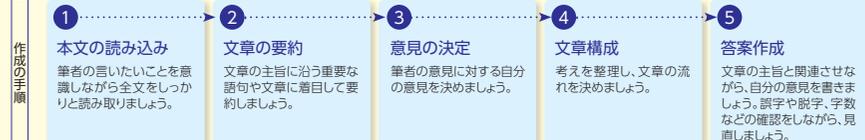
- ・目標6：安全な水とトイレを世界中に
 - ・目標13：気候変動に具体的な対策を
 - ・目標14：海の豊かさを守ろう
 - ・目標15：陸の豊かさを守ろう
- 上記の4つの目標から一つを選び、その目標について説明し、その目標の達成のために私たちができることについて、あなたの考えを述べなさい。

学校推薦型選抜・総合型選抜

本学の小論文は、文・経済・経営・法・地域総合・情報・人間科・国際の各学部と工学

○文章を読み、要約と意見を論述する形式(資料読解型小論文)

文・経済・経営・法・地域総合・情報・人間科・国際の各学部



小論文作成のポイント

部で問題形式が異なります。次の手順のように順序立てて書いてみましょう。

工学部 ○課題(テーマ)について意見を論述する形式(課題(テーマ)型小論文)

